

令和2年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立草加西高等学校)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする

目指す学校像	人に優しく、自分に厳しく、社会に貢献する人間を育てる学校 ～自らの力で夢を実現できる力を養う～
--------	--

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 主体的に学ぶ意欲と探究心を育む授業の充実 社会に通ずる規範意識の育成と、学校行事や生徒会活動・部活動の充実 個々の希望を叶え、生徒の人生を豊かにするきめ細かなキャリア教育の実現 地域連携の強化と積極的な情報発信による開かれた学校づくりの推進
------	---

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	年度評価(月日現在)		
					評価項目の達成状況	達成度	
1	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 検定試験にチャレンジする生徒も増えてきている。家庭学習の習慣が定着していない。保護者の授業に対する関心が高まっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワンランクアップを目指した学力を定着させるために、家庭学習の時間を増やすし、家庭学習を定着させること。 主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業内容を共有し、見える化しながら充実を図ること。 生徒が意欲的に学習に取り組む姿勢と、生徒の探究心を育成すること。 資格取得を学校全体で組織的に取り組むこと 教師間の授業見学を通じた学び合い、外部研修の内容について共通理解を図ること 	<p>目標を掲げ、探究心を持って学習に主体的、意欲的に取り組み、自学できる生徒を育成する</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①教科間で積極的に連携を図り、生徒の家庭学習の時間を確保する。(通年) ②主体的・対話的で深い学びを取り入れるとともに生徒の探究心を刺激する授業を展開し、職員間が学び合いを行い情報共有を図る。(通年) ②教員の学校内研修、学校外の民間等の研修参加を推進し、その内容を共有する。(通年) ③資格試験の情報を積極的に発信するとともに、合格に向けた補習等を充実し、資格取得を推進する。(通年) 	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒の家庭学習時間を昨年度より増加させ、基礎学力を定着させるとともに学力向上を目指す。 ②教員間での授業を公開し、学び合いの場を設けるとともに、情報交換を行う。研修を行い、取組内容について情報共有を図る。 ②学校外の民間等の教育機関への研修等に参加し、その内容を校内研修会で共有する。 ③資格試験の受験者数及び合格者数を増加させる。 ③各種検定試験の2級合格者を増やす。(昨年度比) 			
2	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> きめ細かな生活指導は実践できている。 主体的・自主的に行動できる生徒は増えてきており、前向きに学習に臨み、安定した学校生活を送れている反面、心の支援を必要としている生徒がいる。 登下校中の接触事故がある。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員と生徒との信頼関係を強化し、一人一人が規範ある態度を実践し、将来に向けた自主自立と必要な規範意識をより一層向上させること。 引き続き、全職員の共通理解を得ながら、生徒の安心、安全を確保し、充実した学校生活ができるようにすること。 生徒の自己肯定感を育てるため、活躍できる場を多く設定すること。 部活動の予算編成を適正に行い、活性化につなげること。 生徒が様々なところで自らの意思で決断し、行動できるようになること。 心の支援を組織的に行うために連携体制を強固にすること。 登下校時の安全を確保すること。 	<p>規範意識の向上に自ら努め、自らの意志で行動を律する力を持った生徒を育成する</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①教職員間、保護者との連携を密にし、遅刻指導や身だしなみ指導等を実践することで基本的生活習慣が生徒自らの力で身に付くように指導する。(毎日) ②スクールカウンセラーによる教育相談を実施する。(毎月) ②校内教育相談体制を充実し、草加分校と連携した体制を実現する。(通年) ②二者面談の実施。 ③交通ルールやマナー等に対する生徒の規範意識を醸成し、保護者と連携しての交通安全指導期間を設けて指導を行う。(毎学期) 	<ol style="list-style-type: none"> ①欠席数、遅刻数の減少を目指す。(昨年度比) ①皆勤者の増加を目指す。(昨年度比) ②スクールカウンセラーと連携を図り、生徒が充実した学校生活を送れるように支援する。 ②個に応じて、東部教育事務所と連携する。 ②草加分校と協力した教育相談対応やケース会議等を実施し、情報共有の機会を設定する。 ②生徒との二者面談を計画的に実施する。 ③交通ルールを守り、登下校時の交通事故を無くす。(昨年度比) 			
3	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科や各分掌との連携により、生徒の進路実現の達成率は90%を超えている。 大学等への進学者も増加しつつある。 保護者への情報発信が不十分。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワンランクアップの進路を目指してチャレンジする意欲を向上させること。 一般受験に臨むための準備を早い段階から行うこと。 目標に向け最大限の準備ができる力を身につけさせること。 引き続き、eポートフォリオについて研究し、完成を目指して検討を重ねること。 生徒の多様な進路希望への対応を今まで以上に組織的に行うこと。 保護者へ進路に関する情報発信を行うこと。 	<p>希望する進路に向けて意識を高め、ワンランクアップの進路実現を目指して早めに準備し、意欲的に取り組む生徒を育成する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①3年間を見通した進路指導計画について共通理解を図り、進路指導部を中心に学年と連携して行う。(通年) ②ワンランクアップの進路実現に向けて補習・個別面談や小論文等の指導の他、教員向けの進路指導研修(進学指導全般)を実施する。 ③長期休業中や放課後を活用して、公務員希望者対象の講座や進学者、就職対象の補習等を計画的に実施する。(通年) ④保護者会や個別面談等を通して、進路に関する情報を的確に提供し、質の高い進路指導を継続実施する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①進路指導主事による進路講話や進路指導研修等を実施する。 ②ワンランクアップの進路実現に向けて、生徒が希望する進路の決定(100%)を目指す。 ②高大接続に対応した指導を計画的に実践する。 ②教員向けの進路研修会を年2回程度、実施する。 ③講座や補習を計画的に実施する。 ③大学等が実施する進路説明会へ教員を派遣し、常に新しい情報を把握、共有して生徒面談等で還元する。 ④ホームページ等で保護者へ進路情報の提供をする。 ④進路だよりを年1回以上発行する。 			
4	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的な情報発信と施設開放、地域ボランティア等を行っている。 近隣中学校と良好な関係を築いている。 学校行事や授業公開への保護者の参加数は年々増加している。 草加かがやき特別支援学校草加分校との交流は良好である。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の小・中学校との交流を継続して実施するとともに定着化させること。 PTA活動への保護者理解と参加者を拡大すること。 地域住民の方々が来校する機会が限られている。 分校との相互理解を推進するため部活動をはじめとする交流を行うとともに、生徒だけでなく、職員の交流についても新たに検討し実施すること。 	<p>生徒自身が草加西高校の広報役となり地域の活動等に参加し、様々な人との交流を通して思いやりの心とコミュニケーション能力を持った生徒を育成する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒自身が地域で活躍することで、地域住民や小・中学校等に本校の良さを知らしめ、地域の高校としての認知度を高める。(通年) ①ホームページを効果的に活用し、生徒の活動を積極的に掲載する。(通年) ②PTA・後援会理事会を中心として、保護者間の連絡や連携を強化するとともに、各種行事等に職員と一緒に参加する。 ③草加分校と連携し、日々の連絡を共有する体制を構築する。また、各種行事を生徒だけでなく保護者、職員が一緒に行い一体感を味わう。(通年) 	<ol style="list-style-type: none"> ①学校説明会への参加者を550名以上を目指す。(昨年度約560名) ①ホームページのトップページを積極的に更新する。(昨年度比) ②地域ボランティア活動への参加部活と生徒数を増加させる。 ②保護者の授業公開やPTA活動、各種行事等への参加数を増加させ、学校への関心を高める。 ③合同での行事を実施する。 ③日常での相互交流を図る。 ③職員間の交流を図る。 			

学校関係者評価	
実施日	令和3年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	